

# 体型と食事に関するメタ認知が過食行動に及ぼす影響

## Influence of metacognition about body shape and diet on binge eating

長澤 さやか (Sayaka Nagasawa) 指導：根建 金男

### 【問題と目的】

摂食障害 (ED) の下位分類に共通する診断基準として、過食行動がある (APA, 2013)。メタ認知療法 (MCT) では、認知を制御するメタ認知的信念や行動を制御する道具的信念が過食症の発症や維持に関与していると考えられている (Cooper et al., 2009)。過食では、体型に関するメタ認知的信念や食事に関する道具的信念が特徴として見られることが明らかとなっている (長澤他, 2017)。しかし、それらを測定する体型や食事に関するメタ認知的信念尺度 (MSDS) には信頼性検討や妥当性検討において不十分な点があり、MSDSをアセスメントツールとして用いるには尺度の再検討が必要である。加えて、体型に関するメタ認知的信念や食事に関する道具的信念はEDの精神病理との関連が示唆されたものの、信念がどのようなプロセスで過食行動を強めるかは明らかでない。MCTでは、信念が認知や行動を誘発するプロセスを疾患特異的に説明したメタ認知モデルを作成することにより、症状の維持を説明している。過食行動においても、信念がどのような認知・行動を誘発して過食に結びつくのかの検討が重要である。そこで本研究では、研究1でMSDSの収束的妥当性、交差妥当性、再検査信頼性について再度検討を行う。研究2では、MCTの理論に基づく症状のプロセスを理解するため、再検討されたMSDSを用いて過食行動に関するメタ認知モデルの作成を行う。

### 【研究1】

**目的** MSDSの収束的妥当性、交差妥当性、再検査信頼性の検討を行う。

**方法** 調査対象者：妥当性検討：女子大学生および女子大学院生78名 (平均年齢22.25歳,  $SD=4.35$ )。信頼性検討：女子大学生および女子大学院生55名 (平均年齢21.35歳,  $SD=2.29$ )。調査材料：MSDSの収束的妥当性および交差妥当性の検討として以下の尺度を使用した。Binge Eating Scale; BES (松本他, 1997), Beliefs related to Shape and Diet Scale; BDS (松本他, 2001), Body Image Dissatisfaction scale; BID (山 蔦 他, 2005), Penn State Worry Questionnaire; PSWQ (本岡他, 2009), Rumination-Reflection Questionnaire; RRQ (高野・丹野, 2008), Body Checking Cognitions Scale; BCCS (法田他, 2007)。

**結果と考察** 相関分析の結果、MSDSはBESと有意な正の相関を示し、収束的妥当性が示された。先行研究で使用された尺度とMSDSの相関係数は、概ね同程度の結果が示され、交差妥当性も示された。級内相関係数は有意な高い正の相関を示し、再検査信頼性が示された。以上より、MSDSはアセスメントツールとして使用可能であると考えられる。

### 【研究2】

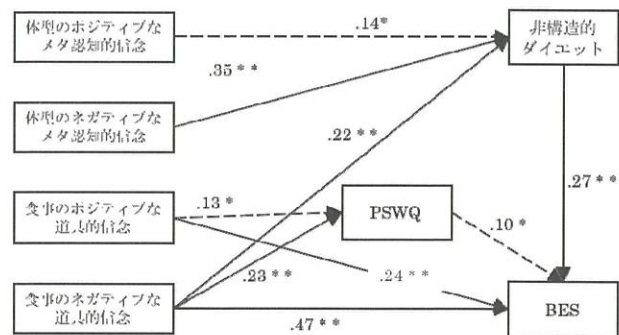
**目的** 過食行動の維持プロセスを明らかにするため、メタ認知モデルの作成を行う。

**方法** 調査対象者：女子大学生および女子大学院生197名 (平均年齢21.02歳,  $SD=3.08$ )。調査材料：MCTで病理プロセスを説明する際の理論に基づき、変数を決定した。用いた尺度は、MSDS, ダイエット行動尺度 (松本他, 1997), BES, PSWQ, RRQであった。

**結果と考察** 共分散構造分析の結果、以下のモデルで分析を行った際に概ね良好な適合度が示された。体型に関するメタ認知的信念は非構造的ダイエットを媒介して過食行動に正の影響を与えていた。また、食事に関する道具的信念は心配を媒介して過食行動に正の影響を与えていた。以上より、過食行動のメタ認知モデルが作成された。

### 【総合考察】

MSDSがアセスメントツールとして使用可能になったことにより、過食行動の維持メカニズムを明らかにするメタ認知モデルが作成された。よって、MCTを用いて過食行動低減を目的とした際の介入ポイントが明確となった。過食行動を対象とした介入において、メタ認知的信念および道具的信念に介入することの有効性が示唆された。



GFI=.99, AGFI=.95, CFI=.99, TLI=.99, RMSEA=.04, SRMR=.03

\*\* $p < .01$  (実線), \* $p < .05$  (点線)

Figure 1. 過食行動のメタ認知モデル